

# <法律学科>2019-2024年度入学生

# 授業科目読替表※1人1枚まで

### 読替とは？

学務システム(LCU)では、履修中の科目名と成績の科目名が別のものになることがあります。他学部・他学科からの提供科目や新カリキュラムで名称が変わった時間割の科目名は、【読替前】の科目名です。履修登録から履修中はこの科目名が表示されます。成績は、【読替後】の科目名でつきます。(成績通知書や成績証明書に記載される科目名)このうち【読替後】が学生自身のカリキュラムに存在する科目名です。この関係を「読替」関係と呼びます。

区分				←		→			
大区分	中区分	小区分	科目区分	履修ガイドに掲載されている科目名 *1	単位	履修登録時・時間割の科目名 *2	単位	備考	
基盤 教育 科目	教養 教育 科目	地域科目	通必	まなびと企業研究Ⅰ	2	まちづくりの仕事	2		
			通必	まなびと企業研究Ⅱ	2	働き方の未来(企業研究と自己分析)	2		
		環境科目	通必	生命と環境	2	環境と生命	2		
			通必	動物のみかた	2	自然と人間	2		
			通必	生命科学入門	2	人間と物質	2		
		世界(地球)科目	通必	近代史入門	2	日本近代史	2		
		知の創造科目	通必	社会学的思考	2	社会学	2		
			通必	現代人のこころ	2	一般心理学	2		
			通必	社会哲学入門	2	哲学	2		
			通必	芸術と人間	2	美学	2		
			通必	法への誘い	2	法学の世界	2		
		共生と協働科目	通必	共生と協働特講A	2	思考と協働特講A	2		
			通必	共生と協働特講B	2	思考と協働特講B	2		
			通必	市民活動論	2	市民活動と地域	2		
			通必	基盤演習Ⅰ	2	教養セミナーⅠ	2		
			通必	基盤演習Ⅱ	2	教養セミナーⅡ	2		
		専 門 教 育 科 目	導 入 科 目	通必	日本国憲法原論	2	憲法(入門)	2	
				通必	法律実務論Ⅰ	2	法律実務論	2	
通必	外国文献研究Ⅱ			2	外国文献研究	2			
通必	紛争処理論			2	法システム論	2			
公法	※			憲法人権論	2	憲法(人権)	2		
	※			憲法機構論	2	憲法(統治)	2		
	※			憲法訴訟論	2	憲法(応用)	2		
刑事法	履			刑事司法政策Ⅰ	2	刑事政策	2		
	社会法			修	雇用関係法	2	労働法Ⅰ	2	
修				労使関係法	2	労働法Ⅱ	2		
修				所得保障法	2	社会保障法Ⅰ	2		
民事法	ガ			修	社会サービス法	2	社会保障法Ⅱ	2	
				イ	物権法	2	物権法Ⅰ	2	
				イ	担保物権法	2	物権法Ⅱ	2	
商事法	ド			修	親族法	2	家族法	2	
				修	企業取引法Ⅰ	2	企業取引法	2	
				修	政治文化論	2	現代政治分析	2	
				修	NPO論	2	公共政策セミナー	2	
		修	公共政策論	2	公共政策論Ⅰ	2			
		修	政策理論特講	2	政策分析論	2			
		修	途上国開発論	2	グローバル社会と労働	2			
		修	政党政治論	2	政治行動論	2			
		修	自治体政策研究	2	公共政策論Ⅱ	2			
		修	地方行政改革論	2	地域行政論	2			
関連科目A	修	応用政策特講	2	交通政策論	2				
	修	比較政策論	2	比較政治論	2				
関連科目B	修	企業ファイナンスⅠ	2	企業ファイナンス	2				
	修	企業評価論Ⅱ	2	企業評価論	2				

\*1 成績証明書・成績通知書(修学簿)に表示される科目名【読替後】

\*2 履修登録時点から履修中にシステム上に表示される科目名【読替前】

※専門教育科目は、各コースによって選択必修か選択科目かが異なります。履修ガイドで、ご自身の必修単位数を必ず確認してください。

※読替がある科目は、履修登録時の単位区分が「判定外」と表示されますが、問題ありません。卒業要件などの各種判定時には、読み替えられた正しい単位区分が表示されます。

※自分の必要とするカリキュラム科目が開講されていない場合、右側に記載されている読替前科目の単位を修得することで自己カリキュラム科目の単位として読み替えられます。

※ただし、記載のない科目においては、読替はありません。